国立研究開発法人 海洋研究開発機構

電子入札システムについて

1 概要説明

経理部

目次	1. 概要説明	1-1. 導入の背景と目的 1-2. 導入のメリット 1-3. 範囲・入札方式 1-4. 対応スケジュール 1-5. システム利用の流れ 1-6. 各種資料の入手・提出方法 1-7. システム動作要件 1-8. ICカードの準備
	2.入札準備	2-1. 利用者登録 2-2. 案件の検索・確認
	3.入札参加	3-1. 参加申請書の提出 3-2. 審査結果の確認 3-3. 入札書の提出 3-4. 開札結果の確認

1-1. 導入の背景と目的

背景

電子入札とは、公告の閲覧から開札までの手続きを、インターネットを利用して電子的に行うものです。

全国で導入が進んでおり、入札事務の効率化・一元化及びその拡張性の観点から、導入の必要性が高まっています。

目的

入札手続の透明性、公正性を高めると共に、これに関わる 企業の負担軽減を図ることが目的です。

また、事務手続きに関する対面での接触機会を減らすことで、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ります。

1-2. 導入のメリット

● 利便性の向上(入札に係るコスト削減)

郵便入札における郵送料が節減できるほか、訪問回数が減少します。

紙資源の節約(ペーパーレス化の推進)

紙での提出が最小限となるため、紙資源の節約になります。

● 業務の効率化・迅速化(機会の拡大)

事務所のパソコン操作だけで複数の入札に参加できます。

1-3. 範囲・入札方式

- システム化の範囲
 - ・入札公告の閲覧
- ・入札説明書、設計図書類のダウンロード
- ・参加申請書の提出
- ・入札書の提出
- ・質問・回答閲覧
- ・落札結果の確認

● 扱う入札方式

物品・役務、建設工事、建設コンサルにおける一般競争入札

※他入札方式については、順次対応

1-4. 導入スケジュール

令和5年4月よりシステムを稼働し、電子入札の初回利用手続きである 「利用者登録」という操作を行っていただく期間を1か月間ほど設けます。 以降、順次電子入札案件の公告を行っていきます。

令和5年

4月3日(月)

5月以降予定

電子入札システム稼働

電子入札案件公告

構築

事前準備期間

一般競争入札(一部案件)

1-5. システム利用の流れ



1-6. 各種資料の入手・提出方法

電子入札では、入札に関わる資料の入手および提出方法が変更となります。

資料名	旧方法		新方法
入札説明書	メール交付	\rightarrow	システムからダウンロード
設計図書	メール交付・郵送	\rightarrow	システムからダウンロード
質問書	メール提出	\rightarrow	システムから提出
誓約書	メール提出・郵送	\rightarrow	システム利用申請時に提出
提案書・技術資料	メール提出・郵送	\rightarrow	システムから提出
入札書	持参・郵送	\rightarrow	システムから提出
辞退届	持参・郵送	\rightarrow	システムから提出

ただし、紙入札承諾願を提出し、機構が承諾したものについては、旧来の方法での提出を認めます。

1. 概要説明

1-7. システム動作要件

OS	Windows10 / Windows11 (Home / Pro) (32bit / 64bit) のみ	
CPU	Intel Core i3 同等以上	
メモリ	2GB以上	
ディスク	空き容量1GB以上	
ディスプレイ解像度	1,280 × 768 (WXGA)以上	
USBポート	空きポート1つ以上	
動作環境	.Net Framework 4.6.1以降(Windows標準搭載)	
ブラウザ	Microsoft Edge(Chromium版)/ Google Chrome のみ	
ネットワーク	インターネットに接続できること	
電子メール	電子メールが送受信できること	
プリンタ	通知書を印刷する場合、A4印刷が可能なプリンタをご準備ください	

1-8. ICカードの準備

● 初めて電子入札に参加される方

ご利用には、機構へ行った利用申請情報と一致する代表者名義のICカードとICカードリーダが必要です。

※入札を委任している場合は、受任者名義のICカードである必要があります。

お持ちでない方は、電子入札コアシステム対応の民間認証局よりご購入ください。

Q 電子入札システム 認証局

検索



● 他団体で電子入札に参加されている方

機構への利用申請情報とお持ちのICカード名義が一致する場合には、 そのままご使用いただけますので、新たに購入いただく必要はありません。